

災害に備えよう 防災うんどう会を開催

9月19日、青垣住民センターで、親子で体を動かしながら防災を学ぶ「防災うんどう会」が開かれました。子育て学習センターが主催したこの運動会では、地震が起こった時に体を守るポーズの練習や、避難に適した服装を選ぶクイズなどを通して、楽しみながら防災を学びました。

参加者は「正しい情報を学べてよかった。災害時には早めの避難を心掛けたい」と話しました。



防災をテーマにしたカルタに挑戦する子どもたち

秋の野山で自然を楽しむ シダ植物観察会を開催

10月5日、柏原地域の鐘ヶ坂公園周辺で、シダ植物や山野草について学ぶ「シダ植物観察会」が開催されました。秋晴れのすがすがしい気候の中、参加者たちは野山を散策してシダ植物と山野草を探し、講師の説明に聞き入りました。

参加者は「葉の長さが1mを超えるナチシダなども見られ、丹波の豊かな自然に触れ合えた1日でした」と話しました。



シダ植物や山野草の説明を聞く参加者

電子マネーでおトクに買い物できる 「たんばコイン」を開始



たんばコインのアプリ画面を紹介する畑理事長

たんば商業協同組合は、10月1日からの消費税増税にあわせて、市内の約100店舗で利用できる電子マネー「たんばコイン」を開始しました。スマートフォンのアプリを利用してキャッシュレス決済すると、即時に最大5%のポイント還元が受けられ、実質的な値引きになります。

同組合の畑道雄理事長は「スマホを持たない人でも、専用カードでキャッシュレス決済できるようにしている」と利用を呼びかけました。

大規模な災害に備えて 合同応急給水訓練を実施



給水パックを使用した給水訓練を行うスタッフ

10月3日、多発するゲリラ豪雨や地震などの大規模災害に備えて、丹波市・丹波篠山市合同の応急給水訓練が丹波医療センターで行われました。

断水を想定したこの訓練では、受水槽への水補給や丹波篠山市への応援要請の流れを確認し、医療センターなどのスタッフが、実際に給水パックを利用した給水活動を体験しました。

市島地域の教育環境を考えよう 教育フォーラムを開催

10月5日、ライフピアいちじまで、市島地域の小学校統合など、将来の子どもたちの教育環境について考える「市島地域のこれからの教育を考えるフォーラム」が開催されました。

意見交換では「大勢の子どもたちの中で勉強させてやりたい」という意見とともに、「小学校は地域の中心。地域のつながりを大切に、統合は慎重に」など、熱い思いが語られました。



子どもたちの教育環境について意見交換する参加者

明智光秀の丹波攻めを語る 黒井城フォーラムを開催

9月28日、春日文化ホールで、2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」で主人公となる明智光秀ゆかりの地である、黒井城の歴史を振り返るフォーラムが開催されました。

フォーラムでは5人の専門家が黒井城の石垣や明智光秀の丹波攻めなどについて説明。黒井城下町について話した城郭談話会の福島克彦さんは「黒井の城下町を巡ってもらうことで、まちの活性化にもつながれば」と話しました。



城郭の石垣について話す北垣聡一郎さん

地域福祉の充実を願って 車椅子 100 台を寄贈



中兵庫信用金庫の足立厚郎理事長（左）から車椅子を受け取る谷口市長（中央）

10月1日、中兵庫信用金庫から、地域福祉の充実を願って車椅子100台の寄贈がありました。今年創立50周年を迎えた中兵庫信用金庫は、昭和44年に旧氷上町で発足。ふるさとを大切に、地域との共存共栄を目指して、営業拠点のある9市町に必要台数の車椅子が贈られました。

谷口市長は「元気に外で過ごしたいと思っている高齢者などに使ってほしい」と話しました。

ゆつくりと美術館を楽しもう 赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー



実物と見比べながら展示作品のパズルに挑戦する親子

10月3日、植野記念美術館で、未就学児とその保護者にゆつくりと展示作品や美術館を楽しんでもらおうと「赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー」が開催されました。

参加者は、各展示室をめぐるスタンプラリーや展示作品のパズルなどを体験。2歳の子どもと参加した母親は「美術館は楽しい所だということを子どもながらに感じてくれたようです」と顔をほころばせました。